

新型コロナウイルス予防接種の諸注意について

- 1 他の予防接種との関係：インフルエンザワクチンとの同時接種はできます。それ以外のワクチンとの同時接種は、医師が必要と認めた場合に限りです。
- 2 予防接種を受けること：
 - ・明らかな発熱（37.5 度以上）のある方が
適当でない方
 - ・重篤な急性疾患にかかっている方
 - ・過去に予防接種でアナフィラキシーを起こした方
 - ・接種液の成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
※全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状
 - ・その他医師が不適当と判断した方
- 3 予防接種受ける場合：
 - ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患や血液疾患等の基礎疾患を有する方
 - ・前に予防接種を受け、2 日以内に発熱、発疹等の異常がみられた方
 - ・今までにけいれんを起こしたことがある方
 - ・過去に本人や近親者で先天性免疫不全と診断されたことのある方
 - ・接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
 - ・抗凝固療法を受けている方、血小板減少症又は凝固障害を有する方
4. ワクチンの効果と副反：ワクチンの効果が現れるまでに2～4週間程度かかります。
応 接種後、接種部位が赤くなったり、硬くなったりすることがありますが、通常2～3日で消失します。発熱や頭痛、悪寒、倦怠感などの症状が見られることもあります。非常にまれですが、ショック、アナフィラキシー等症状（じんましん、呼吸困難など）やけいれん、肝機能障害、喘息発作などの重大な副反応が見られることがありますので、異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
5. 予防接種を受けた後の：①ワクチンを受けたあと 30 分間は、病院にいるなどして様子を観察し、
注意 医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
②ワクチン接種後、24 時間は副反応の出現に注意しましょう。
③接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
④接種当日は接種部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
⑤万一、高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。